マンローランドゴスウェブシステムズジ

軟包材向け EBオフセット機／CI型水性フレキソ

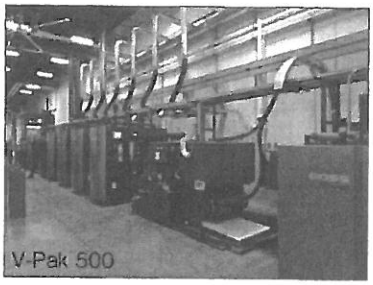
環境（VOC）問題、防爆対策、多品種中小

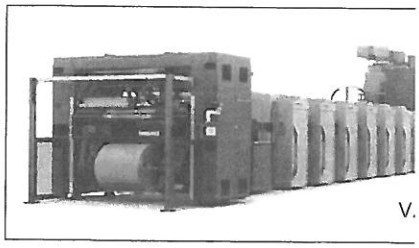
マンローランドゴスウェブシステムズジャパン（埼玉県狭山市、TEL042・954・1093）

ヨナルとマンローランドウェブシステムズが合併したことにより、同年十月一日から新たにスタートした。両社の合併によってマンローランドゴスグループは、世界最大の輪転機製造販売会社となった。

新会社では、日本の軟包装印刷業界に向け、環境問題（VOC）、防爆対策、多品種小中ロットに対しての有効な解決策として、EBオフセット輪転印刷機とCI型水性フレキソ輪転印刷機を提案している。

軟包装向け最新式EBオフセット印刷機「V—Pak」「VARIOMAN」は、EBオフセ





印刷濃度についてはグラビア・フレキソに劣り裏打ちの隠蔽性が不十分とされている。そのため、オフセット七色でカラーマネジメントを行い特色を使わずに印刷し、ジョブ換え時にインキの入れ替えを行わず生産性を高めるとともに、白ベタ印刷についてはEBフレキソ一色ユニットにより隠蔽性を確保する。

基本仕様は、印刷色＝EBオフセット七色＋EBフレキソ一色▽最大印刷幅＝Vpak五〇〇、一〇五一㎜／Vpak三〇〇〇、一九〇五㎜▽リピート長＝Vpak五〇〇、四〇六㎜～八一二㎜／Vpak三〇〇〇、七〇〇㎜～一四〇〇㎜

七m。

また、近年のフレキソ版、アニロックスロール、水性フレキソインキのイノベーションによる水性フレキソ印刷の品質向上を踏まえ、CI型水性フレキソ印刷機を市場に投入する。

基本仕様は、印刷色＝四、六、八、一〇色機▽印刷幅＝最大一二〇〇㎜▽リピート長＝四四〇㎜～九四〇㎜▽最高印刷速度＝四〇〇m／min▽原反＝LDPE・PP二〇～一五〇ミクロン、HDPE・OPP一二～一〇〇ミクロン。

昨年、水性インキと版を日本から持ち込み韓国内で実運転しているCI型フレキソ印刷機により印刷テストを実施のうえ、サンプル印刷取りを行った。今年春にはアジア初となるEBオフセット印刷機V—Pakの実稼働が韓国でスタートすることから、両機の現地見学会を実施する予定。

コンバーティングテクノロジー総合展出
帯電防止機能が静電気障害を解決！
ECシリーズ
お客様のニーズに合った帯電防止ロー
静電気に関するトラブルを解
ゴミ除去用ノンブリード明色帯電防止粘着ローラー
ECダストレル
歪回復性・帯電防止・耐オゾン性ゴムローラー
ECW
耐熱・耐歪み・耐薬品・耐加水分解性・帯電防止
高強度特殊ウレタンローラー
EC-PUW
※その他、EPT系、シリコーン系ゴム材質等、まずはお問い合わせください。
株式会社 加賀ローラ製作所
〒544-
TEL.06
http:

オリエント総業

［有機溶剤非循環型 廃熱回収乾燥システム］

排気エアのうち廃熱のみを乾燥エネに再利用

コンバーティングテクノロジー総合展出展

オリエント総業（愛知県春日井市、TEL0568・27・7211）

グラビア印刷やドライラミネータの乾燥に用いられた後のエアは、まだ熱を持っているにもかかわらず大気放出される。同時に、その排気エアにはインキの蒸発成分（有機溶剤）が含まれており、その再利用やVOC処理については、爆発下限界管理を考慮した安全なハンドリングが必要で、最終製品の残留溶剤に対する懸念もある。

同社ではこれまで、熱をもったまま大気放出されていた排気エアを、有機溶剤循環させることなく再利用することができる「非循環型廃熱回収乾燥システム〈phoenix（フェニックス）〉ドライヤ」を考案した。

排気ダクトを通じて大気に単純に棄てられていた排気エアのうち、廃熱のみを再び乾燥エネルギー源として蘇らせる仕組み。新考案の熱交換器は、揮発した有機溶剤分は一切循環させない仕組みとなっている。グラビア印刷機の各ユニット、あるいはドライラミネータの各ゾーンに、それぞれの風量サイズによって〈モジュールユニット〉として設置される。

ラインナップは、四五m／min型、六〇m／min型、七五m／min型の大中小三モデルを予定。

フレッシュエアは、熱交換の際に、排気エアから一切の有機溶剤分（水性インキの場合は水分）を受けることがない。完全な有機溶剤非循環型廃熱回収で、クリーン&安全なシステムといえる。

特徴としては、(1)排気エアの全風量が廃熱回収の対象とできるため、従来の〈部分リターン方式〉に比べて二倍近くの省エネ効果が得られる（六〇％リターンに相当）(2)廃熱回収においては一切の電源、可動部、気相・液相の熱媒体を持たず、日々のランニングコストは全く不要(3)熱源は、従来通り、LPG、スチーム、オイル熱媒、電熱ヒータ等に対応(4)印刷機・ラミネータの各ユニット・ゾーンの必要風量に合わせてのモジュール設計を採用しており、コンパクト&静粛で設置も容易となっている(5)還流式乾燥システム〈K2〉と組み合わせることで、水性グラビア印刷（ロング炉長）においても油性印刷並みの省エネ&低風量化を実現できる、などがあげられている。

その結果としては、熱交換効率は設備の稼働条件に依存するが、一般的な使用条件下において、約三〇KW相当の驚異的な交換効率を達成し、イニシャルコストも数年で回収できる計算となる。

つながる、はかどる、統合業務シス
社内の仕事がつながる。